

「弾道ミサイル飛来に伴う対応について」

対 応 内 容	
事前	<p>●家族でミサイル飛来に伴う行動等について話し合う。</p> <p>①ミサイルの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミサイルの発射から極めて短時間で着弾する。 ・ミサイル着弾時は、爆風や破片などによる被害が予想される。 <p>②ミサイル飛来時に関する緊急情報の発信</p> <p>全国瞬時警報システム(Jアラート)が防災行政無線で自動配信されることや緊急速報メール等により情報が伝達される。</p> <p>③発生時の行動</p> <p>その地域の状況(建物等の有無)を判断し、自ら身の安全を確保できるように落ち着いて行動する。</p> <p>●家族でイメージアップを図るとともに、自宅や自宅近傍で動作を試みる。</p>
ミサイル発射情報の後、避難メッセージが流れたら	
発生時	<p>(仕事中的他、休日・夜間等も同じ。)</p> <p>●屋外にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速やかに、近傍の建物の中、又は地下に避難する。 ・建物に避難できない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。 <p>●屋内にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物内のできるだけ窓のない部屋(空間)に避難する。 ・窓がある部屋にいる場合は、できるだけ窓から離れる。
発生時	<p>●屋外にいる場合</p> <p>上記の屋外にいる場合に同じ。</p> <p>●自動車等の車内にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンに引火する恐れがあるため、車を止め近傍の建物の中、又は地下に避難する。 ・周囲に避難できる建物が無い場合は、車から離れて地面に伏せ頭部を守る。 ・車外に出ると危険な場合や直ぐに車外に出られない場合は、車内で姿勢を低くして頭部を守る。 ・公共交通機関利用時は、運転手や係員の指示に従う。
近くにミサイルが着弾したら(共通)	
<p>●屋外にいる場合</p> <p>口と鼻をハンカチ等で覆い、着弾した現場から直ちに離れ、密閉性の高い建物又は風上へ避難する。</p> <p>●屋内にいる場合</p> <p>換気扇を止めるとともに窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。</p>	
事後	<p>●情報収集に努め、行政からの指示があれば、それに従う。</p> <p>●家族等の安否を確認して、必要に応じ関係機関へ安否情報の伝達等を行う。</p>

※「地下に避難する。」とは、地下がある場合に限る。